

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ピノキオ幼児舎阿佐谷北保育園
法人名	ピノコーポレーション
法人所在地	東京都杉並区高円寺南4丁目26-16

1. 活動のテーマ

<テーマ>

全身遊び

<テーマの設定理由>

ピノキオ幼児舎阿佐谷北保育園では芝生の中庭があり、乳児クラスが日頃より戸外遊びを楽しんでいる。近隣の公園ではなかなか乳児向け固定遊具がない所が多く、自園の中庭で全身遊びが楽しめるように環境設定を出来るよう取り組みを行っていきたいと考えている。固定遊具ではなく、年齢や子ども達の興味関心に応じて臨機応変に稼働できる遊具にも注目した。

2. 活動スケジュール

子ども達の年齢や興味関心に応じて随時、活動に取り入れていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

平均台やロープがついた板、アーチ板などの木製遊具を購入し、活動年齢に合わせて組み合わせたいけるよう環境を整えた。

4. 探究活動の実践

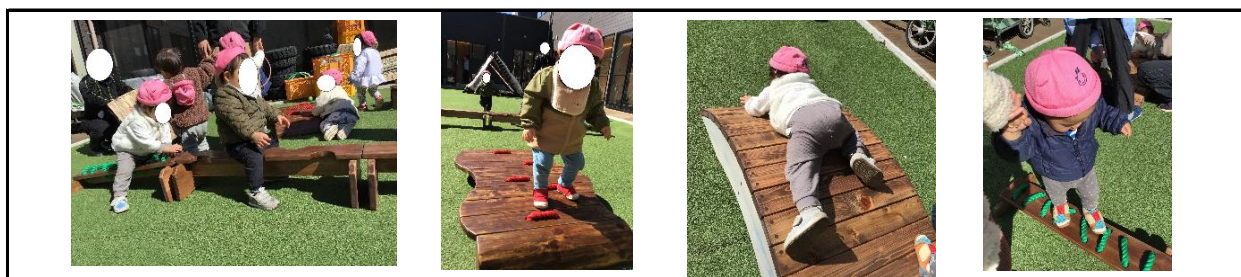
<活動の内容>

①0歳児クラスの活動において、保育者が遊具を設定した。一人でチャレンジする気持ちも大切にしながら、発達に応じて手を添えるなど保育者が援助した。それぞれが体をうまく使いながら、遊具で遊ぶ姿がみられた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

「のぼる、おりる」という動作を自分で挑戦したいという気持ちが表れており、保育者の補助なしでやってみる姿が見られた。立ち姿勢では怖かったのか、這う姿勢でアーチ板をのぼり降りる様子も見られ、「じぶんでやりたい」という主体性の芽生えを感じた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

1人ひとりの成長や興味関心の違いが活動の中にも表れていた。遊具の配置を離すことで、一人がその活動に没頭でき、何度も繰り返して遊ぶ姿も見られた。

遊具の配置によって、遊びの広がりも変化していくことが予想できた。0歳児はまだ子ども達が動かして組み合わせていくことが難しいため、子ども達の探求活動に応じて保育者が環境設定していきたい。